

不確実な時代の先を照らす光に —スピードに丁寧さをプラスして適切対応—



古川
武史
社長

朝日ビジネスコンサルティング

福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル5階

Tel.092-436-4141

<http://www.asahibc.co.jp/>

鍵はいかにリスクを減らすか

ニーズへのさらなる対応力強化を念頭において策定

したのが、2016～20年度までの中期経営計画である。

この中計ではサービスラインの洗練化と共に、コンサル機能の強化を掲げ、最短で最大の効果を発揮できる体制の構築を目指している。コンサルタント個々人の夢や希望、働き方を、「社業を通して地域社会に貢献する」というABC設立時の想いと重ねあわせ、より対応能力の高い組織づくりを進めている。そこで求められるものは感受性と柔軟性、迅速性で、スタッフにはこれらの強化・向上を呼びかけている。さらに自己と向き合い見つめ直すためのキャリアカウンセリングも強化している。古川社長は「自己と向き合い、磨き上げることで、付加価値の向上が期待できる。私たち自身の成長がクライアント企業の成功への確率を高めていくことにつながる」と使命感に燃えている。

多様な取り組み通し地域に貢献

システムの上流行程 (IT) やビ

ジネスプロセスのリエンジニアリング、中期経営計画における戦略・立案やマーケティング、事業再生に加え、人事制度構築や教育事業というサービスラインも順調である。また、システム構築を手掛ける朝日ビジネスシステム (ABS) との連携も相乗的に効果を発揮している。

再建を託され子会社化した「大和スポーツ用品」(佐賀県鳥栖市)では、インドアのレッスンスペースやカフェを設けるなど新たな取り組みも実施。業績は順調に回復しているという。再建プロジェクトには人材育成の実地研修という側面もあるが、既に2人のスタッフが企業の内部コンサルタントなどとして活躍するなど、着実に成果が上がっている。

また、日本の伝統工芸品の存続に寄与しようと始めた、朝日ビジネスマーケティング (ABM) のインターネットショップも顧客に広がりが見られるなど順調に推移しており、さらなるグループ各社の経営強化を進めている。古川社長は「地域社会への貢献がABCのモットー。新中計を第三の創業期と捉え、新たなABCを造り上げていく」と意気込んでいる。

世界的に増大する不確実性

九州の経済状況や企業風土を熟知する独立系コンサルティング企業、朝日ビジネスコンサルティング(福岡市、以下ABC、古川武史社長)。最適で高品質なサービスときめ細やかなフォローが高い評価を受け、厚い信頼を得ている。

16年度は「スピード」をテーマに事業を推進してきたが、17年度はそのスピードを保ちつつ、より「丁寧」に事業を進めていく方針だ。トランプ新大統領の誕生やブレクジットに象徴されるように、世界は不確実性が確実に高まっている。先行きが一層見通しにくくなる中、スピードと丁寧な事業展開が成否を分ける。

古川社長は「今後はこれまでの常識が通用しなくなるケースが増えるだろう。クライアントと共に成長し続けるためには、丁寧な展開や説明が必要になる」と力説する。